

第95回宮古市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 概要

日時 令和4年5月20日（金）
午後1時30分から2時00分まで
会場 本庁舎4F 災害対策本部室

<出席者>

（本部員）市長、副市長、教育長、総務部長、企画部長、エネルギー・環境部長、市民生活部長、保健福祉部長、地域保健医療推進監、産業振興部長、都市整備部長（代理：建設課長）、上下水道部長、危機管理監、会計管理者、議会事務局長、教育部長
（本部員以外）総務課長、財政課長、税務課長、企画課長、田老総合事務所長、新里総合事務所長、川井総合事務所長、エネルギー推進課長、総合窓口課長、生活課長、福祉課長（代理）、こども課長、健康課長、産業支援センター所長、観光課長、建築住宅課長、経営課長、消防対策課長、教育委員会総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、文化課長、広域行政組合事務局長
（事務局）危機管理課防災係長

1 開会

2 挨拶

コロナの感染者も大体このくらいでずっと推移するのかなと思っている。特徴としては、感染源を特定できないというのが多くなってきたのかなと思う。どこかを止めればそれで治まっていくというのはなかなか期待できない。最初から言っているように感染予防をしっかりしようということである。しかし、暑くなってくるとマスクをしていることにより熱中症になる可能性が高いということなので、国が言っているように屋外で、あるいは周りに人がいないという場合にはマスクを外してもかまわない。しかし、手洗いやうがいといったものはしっかりやっつけていかなければならないだろうと思っているので、その点については我々もしっかり対応していきたい。

それから、全国的に会議等が対面の会議になってきている。WEBでも結構ということだが、WEBだと参加者を見ることができない。参加者がどう考えているのかわからない。実際にその場に行って会議に出ると、会議の中が見える化するので、1対1であればWEBも効果を発揮すると思うが、会議全体の雰囲気とか、会議全体がどのような形なのかわからないので、会議に出席して色々なことを進めていかなければならないというのはあると思う。それらを注意しながらやっていくということになるかと思う。そういう状況の中で対応していかなければならないので、「WITH コロナ」、コロナと上手につき合う、感染しないように付き合うということをしっかりやっつけていけばいいのかなと思う。都心が危なくて地方が大丈夫だという世界ではなくなってきているので、我々も仕事やプライベートでどこかに行くときは、PCR検査は結果が出るまで2、3日かかるので、少なくとも抗原検査をして陽性でないことを確認しながらお互いに仕事をす

るということをこれから考えていかなければならないと思って、私もそのようにやっている。行くときに検査をして、帰ってきた時に検査をして、確認しながら仕事は進めていきたいと思っている。プライベートに関してもそのような形を取っていけばいいのではないのかなと私自身は思っている。そのため、そういう形で市役所としてもやっていけばいいのかなと思っている。ご理解をいただければと思いますので、よろしくお願いたします。

3 新型コロナウイルス感染症についての状況報告

全国 PCR 検査陽性者 8,433,124 人（検査実施人数 50,811,141 人）

※クルーズ船を除く

※5/18.0 時現在

岩手県 PCR 検査陽性者 32,331 人（検査実施人数 268,766 人）

※5/19.15 時 00 分現在

4 協議・報告

（1）各部の活動状況報告

■保健福祉部

・ 4 回目接種の実施について

（2）協議

■総務部

・ 職員の県外への移動等について

（3）その他

5 閉 会